

43 クリオザサ(クリオザサ)

指定 平成16年2月27日 町指定天然記念物

所在地 屋久島町栗生1697-1

管理者 屋久島町

種子・屋久に分布する固有のイネ科の植物。葉は、幅3.5cm、長さ15cmとかなり広いが、茎の高さは50cmほどしかない。葉は枝端に4～7枚ずつ付ける。アズマザサ属の中では最南端に分布し、低地に小群落を作って生息している。

屋久島の集落の名前がついた植物はこのクリオザサが唯一である。別名をゲンケイチクといい、この名は発見者の正宗巖敬博士の名前を取ってつけられたという。その他の別名にはタネガシマザサ、クリオチマキ等がある。また、種子島西之表のクリオザサは、恋人同士の逢引の目印に植えられたという言い伝えが残っている。その女性の名前にちなんで「オチヨザサ」とも呼ばれている。

屋久島の栗生が標準産地で、分布も限られており、屋久島で唯一集落の名前が付いた植物であることから町の文化財に指定されている。